

令和元年 5月 朝会

みなさん おはようございます。

新年度がスタートして1か月が経ちました。
また、5月1日より元号が変わり、令和という時代がスタートしました。

10日間のゴールデンウィークは有意義に過ごせたでしょうか。
部活動の大会で頑張った人もいたと思います。事故なくけがなく無事に過ごせてよかったと思います。

さて、新たな生活には慣れましたか。
始業式の時、新たなスタートこそ「変わる」チャンスです。と話しました。1か月が過ぎ、まだ変わるチャンスがない人は、勇気をもって、何事にもチャレンジしてみてください。新たな年号がスタートした今がチャンスです。

また、笑顔での^{すがすが}清々しい挨拶、掃除が行き届き、整った教室は、学習意欲の源です。という話をしました。

先生は、毎朝、校門に立ち、みなさんに「おはようございます」とあいさつをしています。最近、みなさんの方から元気なあいさつがかえってきて、とてもうれしく、清々しい気持ちになります。転任された先生からも、あいさつはつきみ野中学校の良い伝統ですとおっしゃっていました。これからも清々しいあいさつを心がけてください。

ところで、朝の挨拶「おはようございます」には、なぜ、「ございます」という丁寧な言い方がつくのか知っていますか。「こんにちは」や「こんばんは」には、「ございます」は付けません。それは、「おはようございます」だけは、言葉の由来が違うからだ

そうです。

実は、この言葉は「歌舞伎」から来ていると言われています。歌舞伎は戦国時代から演じられるようになった伝統芸能です。歌舞伎と言えば、派手な衣装や化粧が浮かびます。歌舞伎役者は、この準備に時間がかかるために、講演開始時刻よりかなり前に芝居小屋に行くそうです。

その際、芝居小屋の裏方さんたちが、役者に対して、「お早いお着きでございます」と出迎えていたことが始まりだそうです。「いつも早くから準備されて大変ですね。ご苦労さまです。」という相手を^{ねぎら}う思いやりの気持ちが込められているのです。ですから、当然、相手の目をきちんと見て、心を込めて相手に伝える言葉なのです。

その後、これが「おはようございます」に変化したそうです。また、裏方から迎えられた座長も、自分よりもさらに早い時間から来ている裏方さん達に対しても、同様に感謝の気持ちを込めて、「おはようございます」と返したそうです。

この言葉に込められた「^{ねぎら}い」や「感謝」という真の意味をかみしめながら毎日、「おはようございます」と声をかけていこうと思います。

ぜひ、みなさんも、今日も元気に頑張ろう。と心を込めて挨拶をしましょう。

最後に、5月11日（土）～5月20日（月）まで春の全国交通安全運動が行われています。先日も、保育園児が散歩中に交通事故に巻き込まれる痛ましい事故がありました。交通事故にあわないよう、安全に十分気をつけて登下校してください。

以上で終わります。

